

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

アクティブライフ宇和

(ユニット名)

2階

記入者(管理者)

氏名

二宮 美菜子

評価完了日

平成 20年 2月 3日

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)  本施設の開設時スタッフ全員で、どのような生活がしたいか生活してほしいかを出し合い理念を作成した		
			(外部評価)  事業所では、「利用者の人生を大切に」した支援を目指し、利用者一人ひとりが地域にとけ込み、生活できることを目指しておられる。		地域密着型サービスを提供する事業所として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、この機会に話し合われてみてはどうだろうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)  理念は常に目のつくところに掲げてあり、意識できるような環境が作られている		定期的に意識するきっかけ作りをする
			(外部評価)  管理者と職員は、理念に沿ったケアを行えているかということ、日々のケアの中で確認し合っておられる。又、スタッフ会でも理念について話し合い、「自分がされたくない介護はしない」ことを共有されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)  本施設に来所される方は、理念に目を通す機会があるが、地域の人までは理解されていない		施設の理念や、説明などを広報としてみてもらっては

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価)  畑や散歩、買い物などの折に、一住民として気持ちのよい挨拶を心がけている		近所の地図や名前などの必要な情報を整理して、スタッフ全員で共有したい
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価)  回覧板や地域のお祭り、亥の子こなどの行事への参加、近くの保育所の子供たちに慰問にきてもらっている  (外部評価)  市社協の福祉ボランティアを受け入れておられる。地区総会に職員が出席し、事業所の取組みを、さらに知っていただけるよう取組まれている。地域の回覧板を利用者と一緒に回しておられる。		地区の回覧板に事業所の行事や活動を載せ、地域の人に事業所のことをさらに知っていただき、気軽に立ち寄っていただきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価)  十分に地域住民の状況を把握できていない		地域住民の状況を把握し、その上でどのような働きかけができるかを話し合う必要がある
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価)  意義や、評価についてまだ十分に理解できていない  (外部評価)  全職員で自己評価に取り組み、ユニット毎に作成し、管理者と主任でまとめられた。職員は、自己評価作成時に、日々のケアの振り返りをされ、管理者の仕事の多さを知ることができたと話されていた。前回の評価結果を受け、介護計画書を日々の記録に添付し、全職員で内容を共有できるよう取組まれた。		インターネットなどで、具体的にどのように表れるのか調べてみたい

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			定期的に運営推進会議を行っている		運営推進会議で合ったことの報告会や、参加するメン バーを変えていきたい
			(外部評価)		
			会議時の話し合いを通じ、地域の方の協力を得て、地 区総会時に事業所の説明をされたり、防災協力のお願 いをされた。会議時には、事業所の日々の取り組みを 報告されている。		さらに今後、会議には、民生委員の方の出席等、いろ いろな立場の方に出席をいただきたいと考えておられ る。又、サービス評価の報告から、ご意見をいただく ことも計画されていた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			民生委員、介護調査、消防訓練などに来て頂いている		
			(外部評価)		
			管理者は、市の担当者と利用希望者について相談され ている。市主催のグループホーム連絡会に出席し、他 事業者の方達と学ばれている。介護相談員の方の訪問 も受け入れておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			学ぶ機会もなく、話し合いをできていないため、支援 できていない		勉強会や意見交換の場を作る。介護や福祉に関する本 をそろえてみてはどうか
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待や虐待の報告はなく、スタッフ全員で虐待の無い ようにつとめている		高齢者の心理や、スタッフ自身の心のケアについて学 ぶ機会がほしい

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約にあたる管理者、ユニットリーダーから説明を行っている		他のスタッフにもどのような契約が行われているのかなど知る機会がほしい
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日々の利用者の訴えをよく聞き、可能であればすぐに実行し必要であればスタッフ会などで話し合いをしながら進めている		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月の利用者の様子を写真付きの手紙で送ったり、病院の受診など必要ごとに電話で報告をしている		
			(外部評価) ご家族の来訪時、ご本人の近況報告をされたり、毎月、手書きで様子を伝えておられる。3ヶ月に1回、ホーム便りを発行し、事業所の取り組みを報告されている。		さらに今後、利用者個々の服薬状況の情報についても、ご家族に報告をすることも検討されていた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時にお話しさせて頂いたり、意見箱を設置している。苦情があったときは苦情や意見をスタッフ間で話し合い、苦情の解決、意見の反映をする為スタッフ全員で統一したケアをする		
			(外部評価) ご家族の意見、不満、苦情については来訪時に聞き取るようにされている。ご家族の声を、全職員で話し合い、日々のケアに反映できるように取り組んでおられる。年1回家族会が行われている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に一回スタッフ会を行い、意見や提案を話し合うことができている		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務変更に協力し、二人もしくは二人以上の勤務を組んでもらっている。二人は必要最低限の職員配置であり、職員の妊娠や体調不良などに合わせて勤務調整を行っている。		職員の退職や異動による、職員補充の体制が遅い。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動希望などをだすことにより希望を受け止めてもらっている  (外部評価) 異動になった職員が事業所を訪ねてくれる事もある。ユニット間での異動もあるが、職員は、すべての利用者のことを知り、声かけをされている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 一、二ヶ月に一回、法人内の研修を開催しているのでこれにスタッフが順番で参加している。また外部の研修には交通費などの支給も申請によりされている  (外部評価) 法人内で、介護、医療、認知症ケア等について定期的に研修が行われ、事業所からも職員が出席されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			管理者、スタッフ間での交流はあるが、運営者がどのような働きかけをしているのかは不明		管理者を通して運営者の意思や方針、運営体制、組織構造、活動など必要なもの、知っておいたほうが良いものについて学ぶ機会が欲しい
			(外部評価)		
			管理者は、市のグループホーム連絡会に出席され、他の事業所と情報交換をされている。又、法人内の事業所との交流もされている。		今後、GH連絡協議会の相互評価事業の参加も検討されており、ネットワーク作りをすすめ、事業所の質の向上につなげていきたいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			忘年会などに予算を出してもらっている		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			昨年度より、パートから正社員への取り上げの規定が作られた		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			業務の間に耳を傾けている。入所時に本人の希望や状態、家族などについて話している。業務に追われがちになり、十分に話をする時間をとれて居ない時もある。		業務よりも利用者さん最優先であることを再認識し、取り組む。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 来所時に話したり、足りないもの必要なものをそろえて頂いたり、これまでの家族の苦労や、今までのサービスの利用状況をゆっくり聞くようにしている		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談があったときに、本人や、家族の思い、たとえば病院受診なら、交通手段の提供や、スタッフが運転を行ったり、希望を叶えることができるように対応している		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 見学をいつでも受け入れており、前もってホームの雰囲気を知ることができる。やむを得ず緊急で利用になった時は、家族や、それまで関わっていた関係者に来て頂いたりして安心感を持ってもらっている (外部評価) 事業所を見学していただいたり、職員は、利用予定者を訪ね、お話をされている。入居間もないころには、ご家族や関係者の人達に足を運んでいただき、ご本人が安心できるよう取り組まれている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 支援する側、支援される側という意識を持たず、一緒に楽しみながら人生の先輩としての尊敬の念を失わないように昔話を聞いたり、時代劇や絵本など、その人にあった楽しみを見つけ一緒に生活しながら和やかな生活ができるように場面作りや声かけをしている (外部評価) 職員は、利用者より、野菜の下ごしらえの仕方や洗濯物のたたみ方、昔の話し等、教えてもらっている。又、夜勤の時等に「あんた、疲れているじゃろ、早よ寝なさいよ」と、利用者になげらいの言葉を掛けてもらうこともある。		認知症などの理由から帰宅願望の強い方には、無理に本人の希望を否定せずスタッフとドライブに行ってみる、散歩に行くなど本人がかつて生活していた場所を見たり感じて落ち着いていただいたりすることもある



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)  スタッフは家族の思いに寄り添いながら日々の暮らしや出来事を電話や、本人に手紙、はがきを書いてもらったりして、ケアの報告を行っている		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価)  利用者の希望時に電話や、手紙を出したり、家族会を行っている		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)  特別な理由がなければ、地域のなじみの知人や、友人に自由に会いに来て頂いており、ゆっくりと話ができるようにお茶やお菓子を出してくつろげる雰囲気作りをしている		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価)  男性の利用者が多いこともあり、耳が聞こえにくいため挨拶しても返事がなかった、体が当たったのに誤らなかつた、食べ方が汚いなどなどの理由で喧嘩や掴み合いが始まることがあるので、利用者の中に立って、円滑で緩やかな関係を保つようスタッフが気をつけている		喧嘩や暴力行為を回避するためスタッフが入る場面が多い。利用者自身が互いに仲良くできるようフォローしていく
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)  他施設への移動が決まった利用者など、環境変化の混乱の軽減や、ケアの継続のための情報提供や、実際にその施設へ行ってどのようなケアをしていたかなどを実演などを行った		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p> <p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	(自己評価)		
			<p>一人一人に担当がつき、本人が良くなるように、スタッフ全員で話し合いケアプランを作成して介護を行い、日々のかかわりの中で、声かけをしたり把握に努めている</p>		
			(外部評価)		
			<p>「人には迷惑をかけたくない」と、思っておられる利用者には、できるだけご自分のことはご自身で行えるよう支援されている。意思表示のむづかしい方には、表情や行動からも把握できるよう努めておられる。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>本人との会話や、家族の面会の際に情報を少しずつ把握に努めている</p>		<p>知った情報を全員で把握できるように記録し、共有する</p>
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>バイタル測定や、声かけ時など日々の変化に注意し状態観察し、申し送り、個人記録により、スタッフ間で一人一人の生活リズムや、行動を把握し、情報を共有するようにしている</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	(自己評価)		
			<p>ケアプランの作成ごとに、スタッフ全員で話し合い、利用者が自分らしく暮らせるよう考えている</p>		<p>本人や家族の意見の取入れが充分なされて居ないので作成時に本人と家族に意見を聞く</p>
			(外部評価)		
			<p>職員は、利用者の話に耳を傾け、利用者の言葉や支援への反応等、細やかに記録して介護計画に反映されている。</p>		<p>さらに、ご家族の意見や思いも計画に十分反映できるよう、取り組みをすすめていきたいと考えておられた。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			本人の状態の変化や、残存能力の変化、入院退院など本人に現在の介護計画で対応ができない場合、また本人に大きな変化がなく介護計画通りにすごしていただいた場合も3ヶ月ごとに話し合う機会を設け、新しい介護計画の作成をしている		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(外部評価)		
			介護計画は、3ヶ月毎の見直しとされている。又、状態の変化時には随時、見直しを行っておられる。ご本人の希望や状態の変化、薬の飲み方、食事の際の席替え等、その人の現状に応じて、計画に盛り込むようにされている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			必要に応じて外部医療機関に受診などをグループホームの担当医、家族に相談、報告の上行っている。		
			(外部評価)		
			馴染みの美容院、近くの理髪店の利用等、職員が送迎や同行をされることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティアや、消防訓練、保育所からの園児たちの訪問、など来ていただいている		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 西予市の社協が行っているおイネ号という車椅子でも参加できる日帰り旅行には、本人と家族の意思を確認し、希望される方が参加される場合スタッフも一緒に参加して申し込み、金銭の支払や食事、移動など支援を行っている		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) まだ西予市の地域包括支援センターとの協働はないが市の介護予防係と話し合いや相談を行っている		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) グループホームの担当医と24時間の連絡体制をとり、往診にも来てもらっている。また利用者にかかりつけの医師が居るならば継続して受診できるようにしている		
			(外部評価) 利用者個々のかかりつけ医を受診できるよう支援されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 毎日のバイタルや状態を報告書といった形でグループホームの担当医や法人内の認知症対応型の医師に見てもらっている		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 月2回看護職員に来てもらい、相談、健康状態を見てもらっている。また電話での連絡体制を整えている		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時、それまでの状態や、介護、援助方法などの情報提供をおこない、面会時に情報交換を行っている		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 話し合いが不十分である (外部評価) 利用者が重度化した場合や終末期のあり方について、必要に応じて話し合うようになっている。		緊急を要する人はいないが、重度化や、終末期について家族と話し合う必要がある  利用者、ご家族に事業所の重度化・終末期の指針についての説明を行い、ご本人、ご家族の希望や思いを把握し、納得のいく支援につなげていかれることが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度化や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) かかりつけの医師と相談して、変化があったときに対して備えて準備するように心がけている		急変時への対応をグループホームの担当医にさせていただき、入院などの対応もしていただいている。利用者の重度化に対し、「できること・できないこと」の見極め、検討、準備を行う
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人のこれまでの状態や、行っていた援助についての情報提供を行い、住み替えによる混乱を防ぐようにしている		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	(自己評価)		
			<p>記録などの個人情報は外部に漏れないように管理又は、シュレッダーで裁断している</p>		<p>トイレなどの声かけする時に、他者にも聞こえるような音量で話したりすることがある為、もっと利用者の誇りに気をつけるようにしていきたい</p>
			(外部評価)		
			<p>職員は、トイレ使用中やおむつの交換時に、扉を閉めて介助されることを心がけておられる。調査訪問時、トイレから出てこられた利用者の服装の乱れを、職員はそっと声掛けし、整えておられる様子がうかがえた。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	(自己評価)		
			<p>一人一人に会った速度で話し、ゆっくりと説明し、納得していただけるように支援している</p>		
			(外部評価)		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	(自己評価)		
			<p>入浴、食事時間などは、大体決まった時間に行っているが、必ず本人に声かけをし、無理強いしないようにし、希望されない時には時間をおいてすすめてみたりする</p>		
			(外部評価)		
			<p>毎日、新聞を読むことが日課となっている方やご自分の好きなおやつを買いに行き、ご自分で支払いをされる方、お花を、ご主人の遺影に供える方もおられる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理容、美容は本人の希望に合わせて近くの店を利用している		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 手伝っていただけることは職員と一緒にその人の力に応じて手伝っていただいている  (外部評価) 利用者は、職員とともにお米をといたり、野菜の下準備をされている。味見をされたり、食べ終わった食器を重ね、テーブルを拭いておられる利用者の姿がうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 担当医に相談の上、健康に障らない程度に希望時に嗜好品を楽しんでもらっている		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人一人の排泄パターンをつかみ、声かけして誘導を行っている		声かけの音量や他者に知られないようにさりげなく援助を行うようにする

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴の状況を見ながらスタッフが入浴の声かけをしている。以前遅出の時間をずらし、夕方入浴を試みたが希望者があまり出なかったこととスタッフの人数の関係で通常勤務に戻った。夜間の入浴を希望される時には、他の利用者の安全を確保、確認しながら入浴を行っている		
			(外部評価) 夜間にゆっくりと入浴をされる方もおられる。入浴を嫌がる方には、対応を工夫され、決して無理強いせず、清拭等も採り入れ支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 安心して気持ちよく休息できるように支援している。それぞれにあわせた就床介助をおこなっている		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 一人一人できることを手伝ってもらっている。本や新聞などを読んで気晴らしになる人にはいろんな本をそろえたりしている		利用者の役割作りにもっと取り組み、力を発揮できるようにする場面作りをする
			(外部評価) 畑に野菜を取りに行かれたり、オルガンを弾く方、皇室の写真集を見る方もおられた。保育園児の来訪の際には、利用者が、代表で挨拶をしてくださる。「正月のしめ飾りは男の仕事」と率先して作ってくださる方もいる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族と話し合って決めている。利用者それぞれに合わせて、自分で財布を管理されたり、金庫に預かったりしている		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			散歩や買い物など一緒に出かけている。		車椅子の人も本人の意向を確認して、積極的に外出を勧めていきたい
			(外部評価)		
			利用者は、職員と一緒に食材の買い出しに、近くのスーパーに出かけておられる。散歩やドライブ、季節のお花見、地域の行事等にも出かけ楽しまれている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			外出レクや社協の車椅子ごと乗れるバスを使ったイベントへの参加など、外出やイベント地に家族も参加できるように案内を出したりしている		真夏や、真冬など気候の厳しい時には、外出少なくなったり、車椅子の方の外出が難しかったりするが、外出に向けてスタッフの人数の多い日を選択するなど、利用者の希望を実現していく
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望時に電話できるようにしており、かけるときに支援をしている。また電話のかかってきたときの取次ぎを行っている。手紙は、自分でかける利用者には書いていただいて、相手先の住所の確認、切手、投函などの支援を行っている		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも来て頂ける様声かけしており、来所時にも居心地良く過ごしていただけるようお茶などをお出ししている		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアに取り組んでおり、やむなく身体拘束を行う場合には記録、家族への連絡、同意、医者への報告を行う様になっている		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜勤者が1人になる時間18時から朝8時30分のみ出入りに鍵をかけている  (外部評価) 全ての職員は玄関に鍵を掛ける弊害について理解し、日中は、鍵を掛けず、外出したい時に出かけることを支援されており、職員が見守り、対応されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 本人のプライバシーに配慮して部屋などを訪れる時には声かけ、ノックを行い、スタッフの1人は必ず全体が見渡せるホールで利用者の所在を把握している		時々1人で階段を下りる利用者がいるため、ドアの物音や利用者の所在や、様子に出勤スタッフ全員で注意する
68		注意が必要な物品の保管・管理 注意が必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 本来据え付けであるベッドなども布団に変更をしたり、その人の状態や能力に応じて危険ではなくなるようにしている		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) それぞれに起こりうる危険を予防するため、個別に自助具や、食事にとろみをつけるなどの事故を防止するようにしている		事故のあったときを想定した勉強会をもっと増やしてみたい

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 消防署の初級救命救急にスタッフ全員が順番に参加している		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の職員に来ていただいて防火訓練、避難訓練を実地している (外部評価) 年2回、避難訓練を行っておられる。避難の際の「点呼表」のファイルを玄関に設置され、赤鉛筆で記入するようになっており、すべての利用者が安全に避難できたか、確かめられるようにされている。		スタッフ全員が災害時にもあわてずに行動できるよう、訓練の回数を増やし、どのように避難するか等をきちんと覚え行動できるようにする。災害時の対応について話し合う。市の防災マップや避難場所などの確認を行う 事業所では、自主訓練に取り組み、いざという時に慌てないように取り組んでいきたいと考えておられた。運営推進会議を通して、災害時の地域の人達の協力も、さらにお願ひしていききたいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 利用者の状態の変化に応じて、起こり得るリスクについてはその都度、話している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝バイタルをチェックし、利用者の状態の変化や食事量などに気をつけている。また個人記録に状態を記録し申し送りや、連絡ノートで情報の共有を行っているが、職員によって対応に村があることがある		必ず、申し送りや、連絡ノートを確認し、スタッフ全員が利用者一人一人の状態を把握し、統一したケアができるようにする

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>薬情報をファイルにまとめており、薬の変更時には、申し送り、連絡ノートで周知し、内服時には、スタッフが支援、確認を行っているが、全部の薬をきちんと把握されていない</p>		<p>スタッフ全員が薬情報のファイルをよく読み、利用者の使用している薬について把握する</p>
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎日排便の有無をチェックし、一人一人に応じた内服や、牛乳や、ヨーグルトの摂取をいただいている</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎食後見守り、声かけ、介助など一人一人に応じた口腔ケアの支援を行っている</p>		<p>介助の必要がある方や拒否の強い利用者に対して、毎食後の声かけと習慣づけをもらい、口の中を清潔に保つ</p>
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>バランスを考えた献立の作成から、食事量の確認、水分摂取量のチェックを行っている</p> <p>(外部評価)</p> <p>献立は、利用者の希望を聞きながら職員で決めておられる。献立が偏らないように、献立担当の職員がチェックし、食事量の少ない人には、栄養補助食品や補食を用意しておられる。居室にペットボトルや急須を用意し、水分補給に努めておられた。</p>		<p>体重の増加している利用者が居るので低カロリーのをメニューに取り入れる</p>
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価)</p> <p>手洗い、うがいの励行を行い、訪問者にも協力してもらっている</p>		<p>感染症に対する予防や発症時の対応に対する取り決めがないため主な感染症に対するマニュアル作りや、対処法の勉強を行う</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食材の賞味期限のチェック、まな板、布巾の毎日の消毒し衛生管理に努めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関近くに畑を作り、玄関先には鉢植えをおいている。夜間は玄関灯をつけている		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) カーテン、照明器具での光量調整、季節に合わせた壁面の飾りつけ、花を生けている。夜が明けてもカーテンをしたままになっている部屋がある (外部評価) 台所には流し台が2カ所あり、利用者が使いやすい工夫がなされていた。廊下、居間には、季節の花が飾られ、利用者のお習字や節分、お誕生会等の行事の写真も飾られていた。地域の行事にいただいた小さな「わらぐろ」も飾られていた。ご家族の手作りの「ひな祭り」のバッチワークも飾られていた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) それぞれが自由に個室で過ごせる他、共用スペースにも食堂の椅子やベンチ、ソファなどそれぞれが自由な場所を選んでくつろいでいただいている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居時になれたものを使っていただけることを説明し ており、持ってきていただいている。居室内の清潔に 勤めている		
			(外部評価)		
			居室には、使い慣れた椅子やタンス、膝掛け、酸素吸 入器などが用意されていた。好みの服や家族の写真を 持ち込まれ、ご主人の遺影にはミカンと生花が飾られ ていた。ご家族が手作りのお弁当を持参され、居室で ご本人と楽しめることもある。夜間、ポータブルト イレを使用する際に、タンパリンを鳴らすようにされ ている方もおられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	(自己評価)		
			各部屋の換気扇の稼働、清掃地に換気を行い、エアコ ンをつけるときには、こまめに温度調節を心がけてい る		天窓のところにブラインドを設置予定
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	(自己評価)		
			バリアフリーで段差の少ないつくりであり、手すりを 持って歩けるようになっている。自立を妨げず、残存 機能を活用できるよう援助している		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよう に工夫している	(自己評価)		
			十分な様子観察、会話をし、各人に合わせた合わせた 援助や、手伝いをお願いしている		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			施設の広い敷地を、畑作りや、散歩などに利用してい る		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の 2/3 くらい 3 利用者の 1/3 くらい 4 ほとんど掴んでいない	毎日の声かけ、利用者との会話の中で、利用者の胸の内を聞いている
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある 2 数日に 1 回程度ある ③ たまにある 4 ほとんどない	日常の業務に終われる形となり、昼食、おやつなどの時間にしかゆっくりと話せない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の 2/3 くらい 3 利用者の 1/3 くらい 4 ほとんどいない	入浴はスタッフの人数などもあり、ほとんど昼に集中しているが、起床時間や、その日の過ごし方など、概ね自分のペースで過ごしていただいている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の 2/3 くらい 3 利用者の 1/3 くらい 4 ほとんどいない	会話やこちらの働きかけにより笑顔や活動を行ったりされる
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の 2/3 くらい 3 利用者の 1/3 くらい ④ ほとんどいない	利用者主体での外出はほとんどできていない、病院受診や、散歩、食材の買い物にスタッフと出かけている
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の 2/3 くらい 3 利用者の 1/3 くらい 4 ほとんどいない	グループホームの担当医やNSの定期的な訪問と、毎日のバイタル、様子をDrにFaxで報告し対応してもらっている。(病院受診や今までのかかりつけの医者を継続して受け持ってもらっている)
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の 2/3 くらい 3 利用者の 1/3 くらい 4 ほとんどいない	スタッフ一人一人が状況に応じて支援を行っている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と ② 家族の 2/3 くらい 3 家族の 1/3 くらい 4 ほとんどできていない	面会時の会話や月ごとに写真付のお知らせを送ったり、何かあるごとに電話での連絡、確認を行っている
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族や知人にはよく来ていただいている

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) 1 大いに増えている ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の理容や美容を利用したり、保育所の子供たちに毎年慰問に来ていただいている
98	職員は、生き活きと働けている	(自己評価) 1 ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	人数的にコミュニケーションが取れやすく、互いに助け合おうとしている。スタッフの人数が少なく負担が大きい
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	まだまだスタッフ側の都合に合わせた介助になってしまうことがある、帰宅欲求への十分なフォローができていない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時での会話などでは概ね満足していただいているのではないが

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

夜間不眠などの対応として安易に薬に頼るのではなく、その原因を探り環境から改善できるように心がけている。内服薬が出た場合でも、状態を観察し、主治医と相談しながら調節し、入居者さん本人にとって快適な状態になれるよう援助している。